

2023年度(令和5年) 調査・研究等への助成一覧

総助成額 72,770,500円

| NO | 申請者 | 申請活動名 |
|----|---------------|--|
| 1 | 宮坂直樹 | アルケスナン王立製塩所の研究 |
| 2 | 北條知子 | パフォーマンス作品「Whispered Screaming」の技術的試行と新作制作のための調査 |
| 3 | 田幡浩一 | 絵画の中に描かれた雲の調査研究 |
| 4 | 丹羽良徳 | パフォーマンスアートの再思考：新型コロナウイルス以降の時代における公共空間と社会的変革のために |
| 5 | AKI INOMATA | 3Dプリンターで飲料中に雲を造形するアート作品の制作発表 |
| 6 | 石塚元太良 | ゴールドラッシュの調査並びに撮影とドイツ・シュタイデル社での出版事業 |
| 7 | 片岡純也＋岩竹理恵 | 神奈川県立近代美術館鎌倉別館での企画展「現代美術×コレクション」に向けた作品制作 |
| 8 | 田中ゆり | 宇宙線と人間のつながり - 美意識と芸術表現を編み上げる |
| 9 | 谷口顕一郎 | 第二回石狩川凹みリサーチプロジェクト |
| 10 | 加藤翼 | 『Crematory』のための日本人形の調査と人形の切断、複製の素材技術研究 |
| 11 | 泉太郎 | 人工物の抽象性、再開発と再自然化-自然に埋没し後退する古代遺跡と、前景化する再開発地域について- |
| 12 | 原田裕規 | 広島市現代美術館での大規模個展に出品する新作のための調査・研究 |
| 13 | 加藤巧×山脇竹生 | パール剤の歴史的・物性的な背景の調査、および新たな絵画表現の探求 |
| 14 | 川辺ナホ | 美術作品『STRATA (仮)』制作のための技術的研究とそれに関する歴史・社会的調査 |
| 15 | 坊上晃央 | 新作“DEW SCULPTURE”のための研究機関との研究開発 |
| 16 | 湊茉莉 | ドイツ・コブレンツ市IKKGを中心とした地域の歴史及び発祥した複数の技術の調査・制作実践 |
| 17 | 逃げきったと思うなよ委員会 | 現代美術作家 関口正浩の作品および研究資料の保存のための調査・実践 |

| | | |
|----|-------------------------------------|---|
| 18 | 川久保 ジョイ | アトミック・ガーデン・プロジェクト |
| 19 | mamoru | 台湾東海岸の先住民族プユマ族に伝わる日本語の歌のリサーチ |
| 20 | 本間メイ | わたしたちの「母性」とはなにか |
| 21 | 小森はるか+瀬尾夏美 | 「へびと地層」プロジェクト |
| 22 | 藤井光 | 『日本の黒い霧 1965』デジタルヒューマンによる歴史記述の感情化のための調査・研究 |
| 23 | 三好 由起 | 大気から結露水や霜を作り、芸術作品にするための検討と実証検証 |
| 24 | 辻泰岳 | Since 1970：ウエスト・サイドのNew Arts |
| 25 | メイボン尚子 | 彫刻家・毛利武士郎の初オンラインアーカイヴ（日英）を構築、公開するための調査・研究活動 |
| 26 | 徳山由香 | 「ゲームの美学」ゲームと現代美術の領域融合的表現に関する調査 |
| 27 | 下村良之介資料保存整理の会 | 下村良之介資料保存整理の会 |
| 28 | SARU Sokiso Archiving Research Unit | 美術教育基礎課程(総合基礎実技)のアーカイヴ化とデジタルアーカイヴィングの新機軸の研究 |
| 29 | 公益財団法人水戸市芸術振興財団 | 日比野克彦展に向けて：作家蔵作品調査及びプロジェクトのフィールドワーク |
| 30 | 石原悦郎とツァイト・フォト・サロン アーカイブズ | 小アーカイブ運営の持続可能性に関する調査研究 |
| 31 | 木内真由美 | 1960年代から70年代に長野・諏訪に集った前衛芸術家たちの調査研究ーコレクティブ・イベントを中心にー |
| 32 | 町田恵美 | 沖縄の移民アーティスト |
| 33 | 関町卓朗 | 「原爆の図」世界巡回に関する調査研究 |
| 34 | 有限会社 遊工房 | 遊工房マンダラーAIRの社会における無限の可能性を可視化する試み |
| 35 | MIYORI PROJECT (仮) | MIYORI PROJECT -備前が生んだ現代アーティスト・林三從- |
| 36 | 一般社団法人戦後芸術資料保存 | 1960年代から70年代における前衛芸術の現場と記録者たちの調査・研究 |

2022年度(令和4年) 調査・研究等への助成一覧

総助成額 52,672,290円

| NO | 申請者 | 申請活動名 |
|----|-------------------------------------|--|
| 1 | 八幡亜樹 | 手食 web archive |
| 2 | TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH PROJECT | 写真の実験200年史～マテリアルからイメージへ／1800年代から現代まで～ |
| 3 | 増山 士郎 | ジャコウウシの角カバーを編む |
| 4 | 南隆雄 | 日時計 ー時間と造形について |
| 5 | 杉原信幸 | トーテムポールとハイダ族の調査と台湾原住民調査によるアーティスト・イン・レジデンス |
| 6 | 川久保ジョイ | 「The New Clear Age」 ～国内外における原子力技術の社会的表出の記録及びその社会的影響についての作品の制作～ |
| 7 | 飯嶋桃代+斎藤英理 | 戦禍がもたらした名前のない国際児の研究／作品制作 |
| 8 | 宮永 春香 | デンマーク王立美術院における滞在制作および技術研修 |
| 9 | 佃 七緒 | チリ・アタカマ砂漠での調査・研究・作品制作 |
| 10 | 横谷奈歩 | 失われゆく記憶について問ういくつかの方法 |
| 11 | art for all 報酬ガイドラインを考えるワーキンググループ | アートワーカーのための報酬ガイドラインを考える調査 |
| 12 | 佐藤 未来 | 料理本を通じた戦争、政治、文化、フェミニズムの関係性についての研究 |
| 13 | 坂本夏海 | Song for Solidarity (Waulking Song) |
| 14 | 石黒健一 | アメリカ国内における歴史的テーマや鉱物などの土地に根差した事象をリサーチし、それらの結節点として彫刻や映像を制作、発表を行う。また並行して、アーティストデュオとしての素材のリサーチを中心とした活動を行う。 |
| 15 | couch | A Fable of a fable 《寓話の寓話》プロジェクト |
| 16 | 竹田信平 | 海を超えたヒロシマ・ナガサキ 2 |

| | | |
|----|-----------------------|---|
| 17 | 屋台リサーチプロジェクト | 屋台リサーチプロジェクトー西日本編ー |
| 18 | 照屋勇賢 | 「ベイビー御嶽」から「沖縄の魔笛」へ |
| 19 | 「美術は教育」研究ユニット | 「美術は教育」プロジェクト |
| 20 | 町田恵美 | 沖縄の美術ー砂川喜代の画業について |
| 21 | 梶原 正史 | 亜熱帯気候における現代美術作品の保存・修復(立体作品・平面作品)研究 |
| 22 | 富永京子 | 「サブカル」はいかにして「アート」になったのかー 1970・80年代若者下位文化従事者のライフヒストリー研究 |
| 23 | 飯田豊 | 日本の初期ビデオ・アートとCATVの相互影響に関する調査研究 |
| 24 | 三上真理子 | 「はざま」の美術史：ドイツで活躍する日本現代美術作家の言説はいかに作られ（なかっ）たか |
| 25 | 篠田優 | 1980年代以降の日本における映像展示の実証的調査 |
| 26 | 戦後芸術資料保存 | 1960年代における領域横断的芸術と空間についての調査・研究 |
| 27 | アートワーカーズ翻訳プロジェクト実行委員会 | 芸術労働者に関する米日比較研究ー現代日本のための理論と方法のネットワークの構築を目指して |
| 28 | 多摩美術大学 情報デザイン学科 | 高橋士郎の創作・研究のアーカイブ化と公開に向けての基盤整備 |